

へきけんニュース

1999年3月19日発行 第25号

北海道教育大学僻地教育研究施設
岩見沢市緑が丘2丁目34番地
TEL:0126-32-0208 (ダイヤル)
FAX:0126-32-0259
E-mail hekiken@atson.iwa.hokkyodai.ac.jp

平成11年度僻研研究費による僻地教育研究計画の募集について

本施設の研究費による僻地教育研究計画書を下記のように受け付けます。研究費の性格から、研究題目ならびに内容は僻地教育の分野に関連するものであること、またその成果は研究紀要『僻地教育研究』に投稿することが義務づけられています。

研究計画の申請

- * 所定の計画書は各校の代表研究員から受け取ってください。
- * 記述にあたっては、研究目的・内容を具体的にお書きください。
- * 経費は、校費（備品・消耗品・その他）のみで、「旅費・諸謝金」はありません。
- * 申請額は、個人研究が20万円以内、共同研究が30万円以内です。
- * 研究計画書は、4月23日（金）までに各分校の代表研究員に提出してください。

研究計画の採否

- * 遅くとも、7月初旬の研究員会議で決定します。

平成11年度から、研究成果の投稿締め切りは次年度の6月末になります。

研究紀要の発行時期が変わります

『僻地教育研究』は、これまで年度末の3月に刊行していましたが、11年度の第54号からは11月発行となります。

本施設経費から研究費の配分を受けていない方からの投稿を歓迎します。その場合の締め切りは、5月末です。

詳細は、各校の代表研究員または事務局にお問い合わせください。

紀要『僻地教育研究』53号の発刊について

諸先生方の積極的な御協力を得て、『僻地教育研究』第53号を発刊いたします。いずれもユニークな論文で構成されております。本誌は全教官に配付しておりませんので、ご希望の先生は僻研事務局まで御連絡ください。

【紀要目次】

奥尻島・戦前と戦後の子どもと教育

相原 正義

地域教材を取り入れた総合学習の実践について

長谷川美栄子

小規模校（複式）における子供が創り上げる学習活動

- 附属函館小学校での実践の適用 -

夏井 邦男・樋本 哲・大森 武治・渡邊 敬夫・古川 邦彦・船橋 恭二
山村留学の効果（第3報）- 美利河小学校の教育環境による影響 -

大森 裕介・相原 正義・徳永 好治・中森千佳子

北海道における児童の発育について - 札幌と僻地児童の比較 -

小林 禎三・乗安 整而・速水 修

道内社会科副読本（平成9年度）におけるアイヌ民族記述について

吉田 正生

小規模校における歩くスキー授業の工夫・改善

- 子どもたちの声を手がかりとして -

三浦 裕・高橋 一徳・小林 禎三・片岡 繁雄

実験観察へのコンピューター利用

（7）小人数のための教育方法の開発

支援装置F I Tによる自由落下運動の実験と授業への展開

矢作 裕・高橋 和幸・青木 悟

造形活動における感情の発達

福井 凱將

僻地学校における児童の学校ストレスとソーシャルサポートに関する研究：

釧路市の児童との比較

戸田須恵子・福岡真理子

北海道教育大学における地域指定推薦入試の導入と検討課題

- 地域教育委員会アンケート調査結果を通じて -

玉井 康之

郡部幼稚園保育者の描く子ども像に関する研究

- 統合保育実施園保育者に対するアンケート調査結果を通して -

金澤 克美・高久 宏一・後藤 守

道内過疎地域における博物館の諸相と構造転換

- 地域振興対策と近代産業遺産保存との関連から -

武田 泉・菊地 達夫

へき地保育所の保育者が求める保育者像に関する臨床心理学的アプローチ

高久 宏一・後藤恵美子・後藤 守